

百日咳に



ご注意ください

百日咳は、百日咳菌の感染によって、激しい咳を特徴とする急性の気道感染症です。特に、乳幼児では、激しい咳による無呼吸発作、チアノーゼ、けいれん、呼吸停止に進展することがあります。咳が長く続くなど症状がある場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

症状

◆カタル期（約2週間持続）

かぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。

けいがい

◆痙咳期（約2～3週間持続）

発作性、けいれん性の咳が出るようになります。合併症として肺炎や脳炎などもあります。

◆回復期

激しい発作は次第に弱くなり、回復まで、全経過で約2～3か月かかります。

感染経路

感染している人の咳やくしゃみによる飛沫感染、菌に触れた手指などを介した接触感染

出席停止期間

原則、特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌薬療法が終了するまで

（学校保健安全法より）

予防と対策

◆予防には、5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hib）等の接種が有効です。定期接種対象月齢（生後2か月）になったら、早めに接種しましょう。

◆感染を広げないためには、咳が出るときはマスク着用、手洗いなどの基本的な感染対策が重要です。



石鹸で手を洗いましょう

咳が続く場合は、医療機関の受診をご検討ください。